電
力と電気

しょうがく4ねんせい ・ りか ・ r4-01

とじこめた 空気を おすと

やさしい ★☆☆ ・ とじこめた 空気の せいしつ

おすと
どうなる？



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　ひづけ ＿＿＿＿ がつ ＿＿＿＿ にち



おす 前



おした あと

1 とじこめた 空気を おしたよ。ことばから えらんで 書こう。

ことば　小さく　大きく　かわらない　もとに もどる

1 ピストンを おすと、空気の かさは ［　　］ なる。

2 おしちぢめるほど、おし返す 力は ［　　］ なる。

3 手を はなすと、ピストンは ［　　］。

2 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 ○ とじこめた 空気は、おしちぢめる ことが できる。

2 ○ 空気を おしちぢめても、手ごたえは かわらない。

3 ○ 空気でっぽうの 玉は、おしちぢめられた 空気が おし返す 力で とぶ。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

電
力と電気

しょうがく4ねんせい ・ りか ・ r4-02

とじこめた 水を おすと

やさしい ★☆☆ ・ とじこめた 水の せいしつ

空気と
くらべよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち



水を とじこめた つつ

1 とじこめた 水を おしたよ。ことばから えらんで 書こう。

ことば　かわらない　小さく なる　おしちぢめられない

1 ピストンを おしても、水の かさは ［　　］。

2 とじこめた 水は ［　　］。

2 えらんで ○を つけよう。

1 水を とじこめた つつの ピストンを おすと
◯ ほとんど 動かない　◯ どんどん 下がる

2 空気と 水で、おしちぢめられるのは
◯ 空気　◯ 水

3 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 ◯ とじこめた 水を 強く おすと、かさが 半分に なる。

2 ◯ 空気は おしちぢめられるが、水は おしちぢめられない。

できたら
はなまる

つぎまる プリント
力と電気 ・ つぎは 「空気と水の ちがい」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

電
力と電気

しょうがく4ねんせい ・ りか ・ r4-03

空気と水の ちがい

ふつう ★★☆ ・ 空気と 水の ちがい

ひょうに まとめよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿ がつ ＿＿ にち

とじこめた もの	おした ときの かさ
空気	ア
水	イ

1 ひょうの ア・イと 文に 入る ことばを えらんで 書こう。

ことば　小さく なる　かわらない　大きく なる

1 ア ［　　］

2 イ ［　　］

3 とじこめた 空気は、おしちぢめるほど おし返す 力が ［　　］。

2 つつに 空気と 水を 半分ずつ 入れて おしたよ。かさが 小さく なるのは どちらかな。

◯ 空気　◯ 水　◯ どちらも

3 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 ◯ とじこめた 空気を おしちぢめると、おし返す 力が 大きく なる。

2 ◯ とじこめた 水は、空気より おしちぢめやすい。

3 ◯ 空気も 水も、とじこめると 見えなく なる。

できたら はなまる

つぎまる プリント

力と電気 ・ つぎは 「空気と水 まとめ」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

電
力と電気

しょうがく4ねんせい ・ りか ・ r4-04

空気と水 まとめ

むずかしい ★★★ ・ 空気と 水の まとめ

思い出して みよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　ひづけ ＿＿＿＿ がつ ＿＿＿＿ にち

1 とじこめた 空気の せいしつを つかって いる ものに ○、ちがう ものに × を 書こう。

1 ◯ 空気でっぽう

2 ◯ 自転車の タイヤ

3 ◯ 空気を 入れた ボール

4 ◯ 木の つみ木

2 ことばから えらんで 書こう。

ことば　空気　水　小さく　かわらない

1 おしちぢめると おし返す 力が 生まれるのは ［　　］ だ。

2 水を とじこめて おしても、かさは ［　　　　］。

3 空気でっぽうで、後ろの 玉を おしこむと 前の 玉が とぶ わけを えらぼう。

◯ おしちぢめられた 空気が おし返すから

◯ 玉が 自分で 動くから　◯ 水が おすから

書体: Klee One（SIL Open Font License）

電
力と電気

しょうがく4ねんせい ・ りか ・ r4-05

電流の 向き

やさしい ★☆☆ ・ 電流の 向き

電流の 向きを
思い出そう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 ことばから えらんで 書こう。

ことば　＋極　－極　電流　検流計（けんりゅうけい）

1 回路に 流れる 電気を [　　] と いう。

2 電流は かん電池の [　　] から 出て、[　　] に 入る。

3 電流の 向きと 大きさは [　　] で しらべる。

2 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 ( ) 検流計（けんりゅうけい）の はりは、電流が 流れる 向きに ふれる。

2 ( ) はりの ふれが 大きいほど、電流が 大きい。

3 ( ) 電流は －極から 出て ＋極に 入る。



ヒント

検流計（けんりゅうけい）は 回路の とちゅうに つないで つかうよ。

できたら
はなまる

つぎまる プリント
力と電気 ・ つぎは 「回路図を 読もう」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

電
力と電気

しょうがく4ねんせい ・ りか ・ r4-06

回路図を 読もう

やさしい ★☆☆ ・ 電気用図記号と 回路図

記号を
おぼえよう



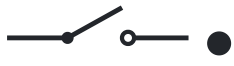
なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 記号と 名前を 線で むすぼう。

1 

2 

3 

4 

- ア モーター
- イ スイッチ
- ウ 豆電球
- エ かん電池

2 かん電池の 記号で、＋極を あらわすのは どちらかな。

◯ 長い 線　◯ 短い 線

3 ことばから えらんで 書こう。

ことば　回路図　地図

記号を つかって 回路を あらわした 図を ＿＿＿＿ と いう。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

電
力と電気

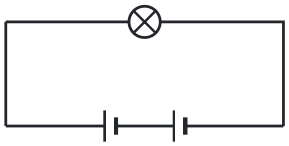
直列つなぎ

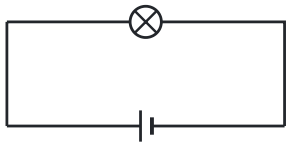
ふつう ★★☆ ・ 直列つなぎ

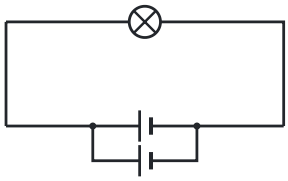
通り道を
たどろう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿ がつ ＿＿ にち

1 

2 

3 

1 かん電池 2こを 直列つなぎに して いる 回路図に ○を つけよう。

◯ 1 ◯ 2 ◯ 3

2 ことばから えらんで 書こう。

ことば　＋極　－極　1本の 道　2本の 道

1 直列つなぎは、1この かん電池の ＋極と、もう 1この かん電池の ［　　］ を つなぐ。

2 直列つなぎでは、電流の 通り道は ［　　］ に なる。

3 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 ◯ 直列つなぎに すると、豆電球は かん電池 1この ときより 明るく つく。

2 ◯ 直列つなぎで 1この かん電池を はずすと、豆電球は 消える。

3 ◯ 直列つなぎは、＋極どうしを つなぐ。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

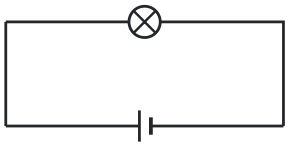
電
力と電気

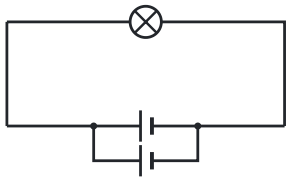
へい列つなぎ

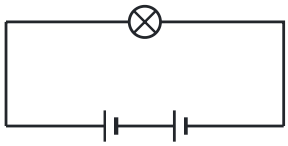
ふつう ★★☆ ・ へい列つなぎ



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿ がつ ＿＿ にち

1 

2 

3 

1 かん電池 2こを へい列つなぎに して いる 回路図に ○を つけよう。

◯ 1 ◯ 2 ◯ 3

2 ことばから えらんで 書こう。

ことば　＋極どうし　－極　かわらない　明るく なる

1 へい列つなぎは、かん電池の ［　　］ と －極どうしを つなぐ。

2 へい列つなぎの 豆電球の 明るさは、かん電池 1この ときと ほとんど ［　　］。

3 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 ◯ へい列つなぎで 1この かん電池を はずしても、豆電球は つく。

2 ◯ へい列つなぎは、直列つなぎより 豆電球が 明るい。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

電
力と電気

しょうがく4ねんせい ・ りか ・ r4-09

つなぎ方と 電流の 大きさ

ふつう ★★☆ ・ つなぎ方と 電流の 大きさ

はりの ふれを
くらべよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

つなぎ方	検流計（けんりゅうけい）の はりの ふれ
かん電池 1こ	2 目もり
直列つなぎ	4 目もり
へい列つなぎ	2 目もり

1 ひょうを 見て こたえよう。

電流が いちばん 大きい つなぎ方

◯ かん電池 1こ　◯ 直列つなぎ　◯ へい列つなぎ

2 数を 書こう。

1 直列つなぎの ふれは 1この ときの ［　　］ ばい

2 へい列と 1この ときの ふれの ちがい ［　　］ 目もり

3 ことばから えらんで 書こう。

ことば　大きく　同じくらい　小さく

1 直列つなぎに すると、電流は 1この ときより ［　　　］ な る。

2 へい列つなぎの 電流は、1この ときと ［　　　］ だ。

できたら
はなまる

つぎまる プリント

力と電気 ・ つぎは 「モーターの 回る 速さ」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

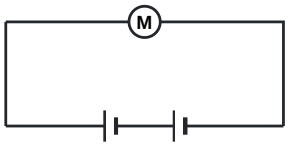
しょうがく4ねんせい ・ りか ・ r4-10

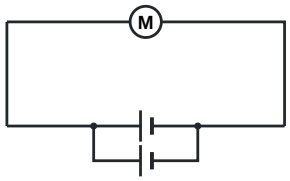
モーターの 回る 速さ

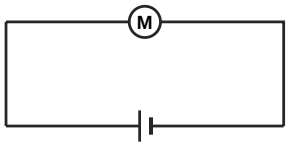
ふつう ★★☆ ・ つなぎ方と モーターの 速さ



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿ がつ ＿＿ にち

1 

2 

3 

1 モーターが いちばん 速く 回る 回路図に ○を つけよう。

○1 ○2 ○3

2 2と 3の モーターの 回る 速さを くらべよう。

○2の ほうが 速い ○ほとんど 同じ ○3の ほうが 速い

3 ことばから えらんで 書こう。

ことば　速く　おそく　電流

かん電池を 直列つなぎに すると、［　　］が 大きく なり、モーターは［　　］回る。

4 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 ○ へい列つなぎの モーターは、1この ときと ほぼ 同じ 速さで 回る。

2 ○ 直列つなぎの モーターは、1この ときより おそく 回る。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

電
力と電気

しょうがく4ねんせい ・ りか ・ r4-11

電流の 向きと モーター

むずかしい ★★★ ・ 電流の 向きと モーター

向きを かえると どうなる？



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿＿ がつ ＿＿＿＿ にち

1 かん電池の 向きを 反対に したよ。ことばから えらんで 書こう。

ことば　反対　同じ　かわらない　（同じ ことばを 何回 つかっても よい）

1 電流の 向きが ［　　］ に なる。

2 モーターの 回る 向きが ［　　］ に なる。

3 検流計（けんりゅうけい）の はりの ふれる 向きが ［　　］ に なる。

2 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 ◯ かん電池の 向きを かえても、豆電球は つく。

2 ◯ かん電池の 向きを かえると、モーターが 止まる。

3 ◯ モーターの 回る 向きは、電流の 向きで きまる。

3 モーターで 動く 車を 後ろに 進ませたい。どう するかな。

◯ かん電池の 向きを 反対に する　◯ かん電池を 2こに ふやす

できたら はなまる

つぎまる プリント

力と電気 ・ つぎは 「電流のはたらき まとめ」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

電
力と電気

しょうがく4ねんせい ・ りか ・ r4-12

電流のはたらき まとめ

むずかしい ★★★ ・ 電流の はたらきの まとめ

思い出して みよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 ○ 電流は ＋極から 出て ー極に 入る。

2 ○ 直列つなぎは、1この ときより 電流が 大きい。

3 ○ へい列つなぎは、直列つなぎより 電流が 大きい。

4 ○ かん電池の 記号の 短い 線は ー極だ。

5 ○ かん電池の 向きを かえても、モーターの 回る 向きは かわらない。

2 つなぎ方と 回路の ようすを 線で むすぼう。

1 直列つなぎ ●

2 へい列つなぎ ●

● ア 電流の 通り道が 2本に 分かれる

● イ 電流の 通り道が 1本

3 ことばから えらんで 書こう。

ことば 検流計（けんりゅうけい） 温度計

電流の 大きさと 向きは ［　　］ で しらべる。

できたら はなまる

つぎまる プリント

力と電気 ・ つぎは この たんげんは おしまい

こたえは ここ

つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

温
ものの せいしつ

しょうがく4ねんせい ・ りか ・ r4-13

空気の かさと 温度

やさしい ★☆☆ ・ 空気の かさと 温度

あたためると どうなる？



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 空気を とじこめた 入れ物の 口に、せっけん水の まくを つけた よ。ことばから えらんで 書こう。

ことば　ふくらむ　へこむ　ふえる　へる

1 湯で あたためると、まくは ［　　］。

2 氷水で 冷やすと、まくは ［　　］。

3 空気は あたためると かさが ［　　］。

4 空気は 冷やすと かさが ［　　］。

2 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 ○ へこんだ ピンポン玉を 湯に つけると、もとに もどる ことが ある。

2 ○ 空気の かさは、温度が かわっても かわらない。



ヒント

中の 空気の かさが ふえると、まくは 外へ おし出される よ。

できたら はなまる

つぎまる プリント

ものの せいしつ ・ つぎは 「水の かさと 温度」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

温
ものの せいしつ

しょうがく4ねんせい ・ りか ・ r4-14

水の かさと 温度

やさしい ★☆☆ ・ 水の かさと 温度

水面の しるしを 見よう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 水を 入れた 試験管に ガラス管を さして、水面に しるしを つけたよ。ことばから えらんで 書こう。

ことば　上がる　下がる　ふえる　へる

1 湯で あたためると、水面は [　　]。

2 氷水で 冷やすと、水面は [　　]。

3 水は あたためると かさが [　　]。

2 同じように あたためた とき、かさの かわり方が 大きいのは どちらかな。

◯ 空気　◯ 水

3 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 [　　] 水も 空気と 同じように、温度に よって かさが かわる。

2 [　　] 水の かさは、冷やすと ふえる。

できたら はなまる

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

温
ものの せいしつ

しょうがく4ねんせい ・ りか ・ r4-15

金ぞくの かさと 温度

ふつう ★★☆ ・ 金ぞくの かさと 温度



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 金ぞくの 玉と、玉が ちょうど 通る 輪で しらべたよ。ことばから えらんで 書こう。

ことば　通らない　通る　ふえる　へる

1 玉を 熱すると、輪を ［　　］。

2 熱した 玉を 冷やすと、また 輪を ［　　］。

3 金ぞくは 熱すると かさが ［　　］。

2 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 ○ 鉄道の レールの つなぎ目には、すき間が ある ものが ある。

2 ○ 金ぞくは、温度が かわっても かさが まったく かわらない。

3 ○ 金ぞくの かさの かわり方は、空気より 小さい。



ヒント

レールの すき間は、夏に レールの かさが ふえても こまらない ように して あるよ。

できたら はなまる

書体: Klee One（SIL Open Font License）

温
ものの せいしつ

しょうがく4ねんせい ・ りか ・ r4-16

かさの かわり方を くらべよう

むずかしい ★★★ ・ かさの かわり方の くらべ

大きい じゅんは？



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 温度が かわった ときの かさの かわり方が 大きい じゅんに ならべよう。

ア	イ	ウ
金ぞく	空気	水

□ → □ → □

2 かさの かわり方が いちばん 小さい ものに ○を つけよう。

○ 空気　○ 水　○ 金ぞく

3 ことばから えらんで 書こう。

ことば　ふえる　へる

空気・水・金ぞくは、どれも あたためると かさが ＿＿＿＿ 。冷やすと かさが ＿＿＿＿ 。

4 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 ○ 夏に 電線が たるむのは、金ぞくの かさが ふえるからだ。

2 ○ 冬は 電線が 夏より たるむ。

できたら はなまる

つぎまる プリント

ものの せいしつ ・ つぎは 「金ぞくの 温まり方」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

温
ものの せいしつ

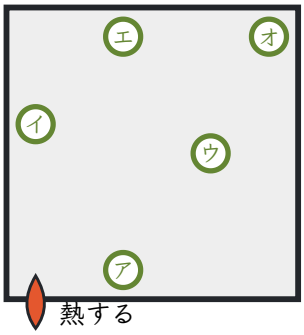
金ぞくの 温まり方

やさしい ★☆☆ ・ 金ぞくの 温まり方

熱した ところから
近いのは？



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち



1 板の 左下を 熱したよ。ろうが とける じゅんを 考えよう。

1　いちばん はやく とける ところ

◯ア ◯イ ◯ウ ◯エ ◯オ

2　いちばん おそく とける ところ

◯ア ◯イ ◯ウ ◯エ ◯オ

2 ろうが とける じゅんに 記号を ならべよう。

□ → □ → □ → □ → □

3 ことばから えらんで 書こう。

ことば　熱した ところ　上の ほう

金ぞくは □ から じゅんに 温まって いく。

できたら はなまる

つぎまる プリント

ものの せいしつ ・ つぎは 「水の 温まり方」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

温
ものの せいしつ

しょうがく4ねんせい ・ りか ・ r4-18

水の 温まり方

ふつう ★★☆ ・ 水の 温まり方



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿ がつ ＿＿ にち

1 試験管の 水の 下の ほうを 熱したよ。ことばから えらんで 書こう。

ことば　上　下　全体

1 温められた 水は ［　　］ の ほうへ 動く。

2 やがて 水 ［　　］ が 温まる。

2 えらんで ○を つけよう。

1 試験管の 水の 上の ほうだけを 熱すると、下の 水は
◯ なかなか 温まらない ◯ すぐに 温まる

2 ビーカーの 水の 下を 熱した とき、先に 温まるのは
◯ 上の ほうの 水 ◯ 下の ほうの 水の まま

3 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 ◯ 水は 金ぞくと 同じように、熱した ところから じゅんに 温まる。

2 ◯ 水は 温められた 部分が 動いて、全体が 温まる。



ヒント

絵の具などを 入れると、水の 動きが 見えるよ。

できたら はなまる

つぎまる プリント

ものの せいしつ ・ つぎは 「空気の 温まり方」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

温
ものの せいしつ

空気の 温まり方

ふつう ★★☆ ・ 空気の 温まり方

けむりの 動きを 見よう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 だんぼうの ついた 部屋で 温度を はかったよ。いちばん 温度が 高いのは どこかな。

◯ ゆかの 近く ◯ まん中 ◯ 天井の 近く

2 ことばから えらんで 書こう。

ことば　上　下　全体

1 温められた 空気は ［　　］ の ほうへ 動く。

2 空気も 水と 同じように、動きながら ［　　］ が 温まる。

3 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 ◯ 線香の けむりを ストーブの 上に もって いくと、けむりは 上へ 動く。

2 ◯ 温められた 空気は 下へ しずむ。

3 ◯ 冬、部屋の 下の ほうは 上の ほうより 温度が ひくい ことが 多い。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

温
ものの せいしつ

しょうがく4ねんせい ・ りか ・ r4-20

温まり方 まとめ

むずかしい ★★★ ・ 温まり方の まとめ

ちがいを
くらべよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿ がつ ＿＿ にち

1 温まり方を えらんで ○を つけよう。

1 金ぞく
- ◯ 熱した ところから じゅんに 温まる
- ◯ 温められた 部分が 上へ 動いて 全体が 温まる

2 水
- ◯ 熱した ところから じゅんに 温まる
- ◯ 温められた 部分が 上へ 動いて 全体が 温まる

3 空気
- ◯ 熱した ところから じゅんに 温まる
- ◯ 温められた 部分が 上へ 動いて 全体が 温まる

2 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 ◯ フライパンの 取っ手が 熱く なるのは、金ぞくが 熱した ところから 温まるからだ。

2 ◯ ふろの 湯は、上より 下の ほうが 熱く なりやすい。

3 エアコンで 部屋を あたためる とき、ふき出し口の 向きは どちらが よいかな。

◯ 下向き ◯ 上向き

できたら
はなまる

つぎまる プリント

ものの せいしつ ・ つぎは 「水を 熱すると」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

温
ものの せいしつ

水を 熱すると

やさしい ★☆☆ ・ 水が ふっとうする ようす

あわの 正体は？



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿ がつ ＿＿ にち

1 水を 熱したよ。ことばから えらんで 書こう。

ことば　100　0　ふっとう　水じょう気　湯気

1 水は 約 [　　] ℃で、さかんに あわを 出して [　　] する。

2 ふっとうした 水から 出る あわは [　　] だ。

3 白く 見える [　　] は、小さな 水の つぶだ。

2 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 ( ) 水が ふっとうして いる 間は、温度が ほとんど 上がらない。

2 ( ) 水じょう気は 目に 見える。

3 ( ) 急に ふっとうするのを ふせぐ ために、ふっとう石を 入れる。

できたら はなまる

つぎまる プリント

ものの せいしつ ・ つぎは 「水を 冷やすと」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

温
ものの せいしつ

しょうがく4ねんせい ・ りか ・ r4-22

水を 冷やすと

やさしい ★☆☆ ・ 水が こおる ようす



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿ がつ ＿＿ にち

1 水を 冷やしたよ。ことばから えらんで 書こう。

ことば　0　100　ふえる　へる

1 水は [　　] ℃で こおりはじめる。

2 水が こおると、かさが [　　]。

2 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 ◯ 水が ぜんぶ こおるまで、温度は 0℃の まま かわらない。

2 ◯ 氷に 食塩を まぜた ものを つかうと、水を 0℃より ひくく 冷やせる。

3 ◯ 水は こおると、かさが へる。

4 ◯ こおった 氷を さらに 冷やすと、0℃より ひくく なる。

3 水を いっぱいに 入れた ペットボトルを こおらせると どう なるかな。

◯ ふくらむ　◯ へこむ　◯ かわらない

できたら はなまる

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

温
もののせいしつ

しょうがく4ねんせい ・ りか ・ r4-23

水の 三つの すがた

ふつう ★★☆ ・ 水の 三つの すがた



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 水の すがたと 名前を 線で むすぼう。

1 氷 ● ● ア えき体

2 水 ● ● イ 気体

3 水じょう気 ● ● ウ 固体

2 ことばから えらんで 書こう。

ことば　熱する　冷やす

1 水を ［　　］ と 水じょう気に なる。

2 水を ［　　］ と 氷に なる。

3 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 ○ 水は 温度に よって、氷・水・水じょう気に すがたを かえる。

2 ○ 水じょう気を 冷やすと、水に もどる。

3 ○ 氷は いくら 温めても 水に ならない。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

温
ものの せいしつ

しょうがく4ねんせい ・ りか ・ r4-24

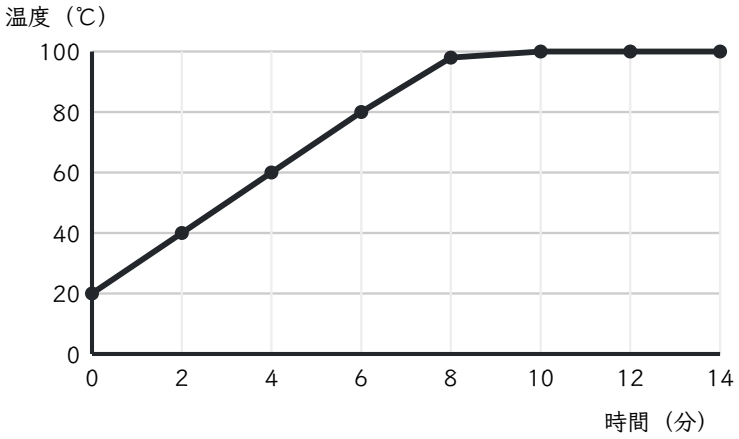
水の 温度の グラフ

むずかしい ★★★ ・ 水を 熱した ときの 温度

グラフの 形を 見よう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち



1 グラフを 見て 書こう。

1 熱しはじめの 温度 ［　　］ ℃

2 4分後の 温度 ［　　］ ℃

3 100℃に なったのは ［　　］ 分後

4 0分から 4分までに 上がった 温度 ［　　］ ℃

2 10分より 後の 温度は どう なって いるかな。

◯ ほとんど かわらない　◯ 上がりつづける　◯ 下がる

3 ことばから えらんで 書こう。

ことば　ふっとう　こおって

10分より 後、水は ［　　］ して いる。

できたら はなまる

つぎまる プリント

ものの せいしつ ・ つぎは この たんげんは おしまい

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

体
いきもの

ほねと きん肉

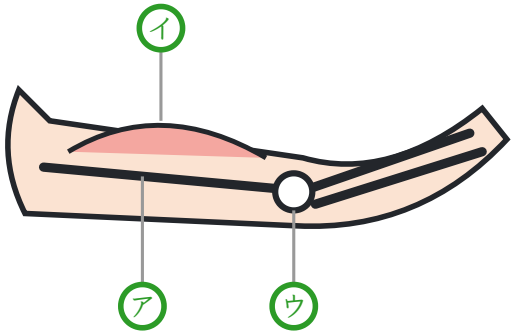
やさしい ★☆☆ ・ ほねと きん肉の はたらき

さわって
たしかめよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 うでの ア〜ウの 名前を 書こう。



ことば　ほね　きん肉　関節
ひふ

ア ［　　］
イ ［　　］
ウ ［　　］

2 ことばから えらんで 書こう。

ことば　ほね　きん肉　のう　心ぞう

1 体を ささえたり、中を まもったり するのは ［　　］ だ。

2 頭の ほねは ［　　］ を まもって いる。

3 ちぢんだり ゆるんだり して 体を 動かすのは ［　　］ だ。

3 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 （　） むねの ほねは、心ぞうや はいを まもって いる。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

体
いきもの

関節の はたらき

やさしい ★☆☆ ・ 関節の はたらき

曲がる ところを さがそう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 ことばから えらんで 書こう。

ことば　関節　きん肉　曲がる　曲がらない

1 ほねと ほねの つなぎ目を [　　] と いう。

2 体は 関節の ところで [　　]。

2 関節が ある ところに ○、ない ところに × を 書こう。

1 ◯ ひじ

2 ◯ ひざ

3 ◯ 指の つけね

4 ◯ うでの ほねの まん中

5 ◯ かた

3 ひじを 曲げる とき、曲がる ところは どこかな。

◯ 関節　◯ ほねの とちゅう

できたら はなまる

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

体
いきもの

しょうがく4ねんせい ・ りか ・ r4-27

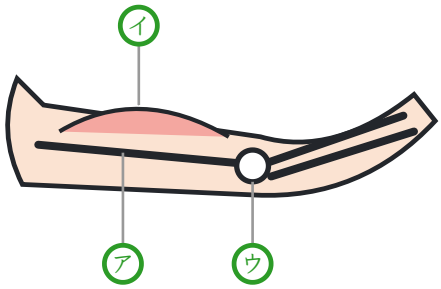
うでの きん肉の はたらき

ふつう ★★☆ ・ うでの きん肉の ちぢみ方

さわって
くらべよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち



1 うでを 曲げのばし したよ。ことばから えらんで 書こう。

ことば　ちぢむ　ゆるむ　（同じ ことばを 何回 つかっても よい）

1 うでを 曲げる とき、内がわの きん肉は ［　　］。

2 うでを 曲げる とき、外がわの きん肉は ［　　］。

3 うでを のばす とき、内がわの きん肉は ［　　］。

4 うでを のばす とき、外がわの きん肉は ［　　］。

2 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 （　　） きん肉は ちぢむと かたく なる。

2 （　　） きん肉は ほねに ついて いる。

3 （　　） うでを 動かす とき、きん肉は 1つも 動かない。

できたら
はなまる

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

体
いきもの

しょうがく4ねんせい ・ りか ・ r4-28

体のつくり まとめ

むずかしい ★★★ ・ 体の つくりの まとめ

思い出して みよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 ◯ 体の 中には、たくさんの ほねが ある。

2 ◯ 関節が ない ところでも、体は 自由に 曲がる。

3 ◯ きん肉が ちぢんだり ゆるんだり して 体が 動く。

4 ◯ ほかの 動物にも、ほねや きん肉や 関節が ある。

2 体の つくりと はたらきを 線で むすぼう。

1	ほね ●	● ア ちぢんで ほねを 動かす
2	きん肉 ●	● イ ほねと ほねの つなぎ目
3	関節 ●	● ウ 体を ささえる

3 ことばから えらんで 書こう。

ことば　内がわ　外がわ

うでを 曲げる ときに ちぢむのは ［　　］ の きん肉だ。

できたら はなまる

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

体
いきもの

春の 生きもの

やさしい ★☆☆ ・ 春の 生きもの

春の 生きもの
見つけたよ



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 春の ようすとして 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 ○ ツバメが 南の 方から やって 来る。

2 ○ サクラの 花が さく。

3 ○ ヘチマの たねを まく。

4 ○ オオカマキリが たまごから かえる。

5 ○ ツバメが 南の 方へ わたって いく。

2 ことばから えらんで 書こう。

ことば　高く　ひくく　土から

1 春に なると 気温が ［　　］ なり、生きものが 活動を はじめる。

2 冬の 間 土の 中に いた カエルが ［　　］ 出て くる。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

体
いきもの

しょうがく4ねんせい ・ りか ・ r4-30

夏の 生きもの

やさしい ★☆☆ ・ 夏の 生きもの



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿ がつ ＿＿ にち

1 夏の ようすとして 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 ◯ ヘチマの くきが よく のびる。

2 ◯ ツバメが ひなを 育てる。

3 ◯ サクラの 葉が しげる。

4 ◯ カエルが 土の 中で じっと して いる。

5 ◯ セミが 鳴いて いる。

2 ことばから えらんで 書こう。

ことば　高い　ひくい　さかんに

1 夏は 1年で 気温が いちばん ［　　］。

2 夏は 動物が ［　　］ 活動する。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

体
いきもの

しょうがく4ねんせい ・ りか ・ r4-31

秋の 生きもの

ふつう ★★☆ ・ 秋の 生きもの

秋の 生きもの
見つけたよ



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　ひづけ ＿＿＿＿ がつ ＿＿＿＿ にち

1 秋の ようすとして 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 ◯ ツバメが 南の 方へ わたって いく。

2 ◯ ヘチマに 実が できる。

3 ◯ サクラの 葉の 色が かわり、落ちて いく。

4 ◯ オオカマキリが たまごを うむ。

5 ◯ ヘチマの くきが 夏より よく のびる。

2 ことばから えらんで 書こう。

ことば　高く　ひくく　たね

1 秋に なると 気温が ［　　］ なる。

2 秋の 植物は、実や ［　　］ を つける ものが 多い。

できたら はなまる

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

体
いきもの

冬の 生きもの

ふつう ★★☆ ・ 冬の すごし方



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 冬の ようすとして 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 ◯ オオカマキリは たまごで 冬を こす。

2 ◯ カエルは 土の 中で 冬みんする。

3 ◯ ナナホシテントウは せい虫で 冬を こす ものが いる。

4 ◯ アゲハは さなぎで 冬を こす。

5 ◯ ヘチマは 冬に 花を たくさん さかせる。

2 ことばから えらんで 書こう。

ことば　たね　め　花

1 冬の ヘチマは かれて、［　　］を のこす。

2 サクラの えだには、春に そなえて［　　］が ついて いる。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

体
いきもの

しょうがく4ねんせい ・ りか ・ r4-33

へチマの 1年

ふつう ★★☆ ・ へチマの 1年

季節の じゅんに ならべよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 へチマが 育つ じゅんに、記号を ならべよう。

ア	イ	ウ
春 たねを まく	秋 実が 大きく なる	春 子葉が 出る

エ	オ
夏 くきが のびて 花が さく	冬 かれて たねが のこる

□ → □ → □ → □ → □

2 へチマが いちばん よく のびる 季節は どれかな。

◯ 春　◯ 夏　◯ 秋　◯ 冬

3 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 ◯ へチマは 気温が 高い ころに よく 育つ。

2 ◯ へチマの 実の 中には たねが できる。

できたら はなまる

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

体
いきもの

しょうがく4ねんせい ・ りか ・ r4-34

ツバメの 1年

ふつう ★★☆ ・ ツバメの 1年



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 ツバメの 1年の じゅんに、記号を ならべよう。

ア	イ	ウ
夏 ひなを 育てる	春 南の 方から 来る	春 巣を 作って たまごを うむ

エ
秋 南の 方へ わたる

□ → □ → □ → □

2 ツバメが 日本で 見られなく なる 季節は どれかな。

◯ 夏　◯ 冬

3 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 ◯ ツバメは 家の のき下などに 巣を 作る。

2 ◯ ツバメは 冬に 日本で ひなを 育てる。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

体
いきもの

しょうがく4ねんせい ・ りか ・ r4-35

気温と 植物の のび方

むずかしい ★★★ ・ 気温と 植物の のび方

ひょうを
よく 見よう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

月	4月	5月	6月	7月	9月	10月
気温（℃）	15	19	22	27	25	18
1週間に のびた 長さ（cm）	5	30	60	110	40	10

1 ひょうを 見て こたえよう。

1 気温が いちばん 高い 月

◯ 4月 ◯ 5月 ◯ 6月 ◯ 7月 ◯ 9月 ◯ 10月

2 いちばん よく のびた 月

◯ 4月 ◯ 5月 ◯ 6月 ◯ 7月 ◯ 9月 ◯ 10月

2 数を 書こう。

1 6月の 1週間に のびた 長さ ［　　］ cm

2 7月と 6月の 1週間に のびた 長さの ちがい ［　　］ cm

3 ことばから えらんで 書こう。

ことば　高い　ひくい

ヘチマは 気温が ［　　］ ころに よく のびる。

できたら
はなまる

つぎまる プリント

いきもの ・ つぎは 「季節と生きもの まとめ」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

体
いきもの

季節と生きもの まとめ

むずかしい ★★★ ・ 季節と 生きものの まとめ

1年を
ふり返ろう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 季節と 生きものの ようすを 線で むすぼう。

1	春 ●	● ア ヘチマが よく のびる
2	夏 ●	● イ ツバメが 南の 方へ わたる
3	秋 ●	● ウ カエルが 土の 中で 冬みん
4	冬 ●	● エ ツバメが 南の 方から 来る

2 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 ○ 気温が 高い 季節ほど、動物は さかんに 活動する。

2 ○ 冬は 植物が いちばん よく のびる。

3 ○ オオカマキリは たまごで 冬を こす。

3 ことばから えらんで 書こう。

ことば　気温　風

生きものの ようすは、季節ごとの ［　　］ の かわりと かかわって いる。

できたら
はなまる

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

月

天気と星

しょうがく4ねんせい ・ りか ・ r4-37

水の 流れと 地面の かたむき

やさしい ★☆☆ ・ 水の 流れと 地面の かたむき



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 ことばから えらんで 書こう。

ことば　高い　ひくい　たまる

1 雨水は [　　] ところから [　　] ところへ 流れる。

2 地面の ひくい ところには 水が [　　]。

2 ビー玉を 入れた トレーを 地面に おいて、かたむきを しらべたよ。ビー玉が 集まった ほうは どちらかな。

◯ ひくい ほう　◯ 高い ほう

3 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 ◯ 水たまりは、まわりより ひくい ところに できやすい。

2 ◯ 雨水は ひくい ところから 高い ところへ 流れる。

3 ◯ 校庭の 雨水は、地面の かたむきに そって 流れる。

できたら はなまる

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

月

天気と星

しょうがく4ねんせい ・ りか ・ r4-38

つぶの 大きさと しみこみ方

ふつう ★★☆ ・ つぶの 大きさと しみこみ方

つぶの 大きさを
くらべよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

土の しゅるい	じゃり	すな	ねん土の 多い 土
水が しみこむまでの 時間（秒）	5	20	90

1 ひょうを 見て こたえよう。

1 水が いちばん はやく しみこんだ もの

◯ じゃり ◯ すな ◯ ねん土の 多い 土

2 水が いちばん おそく しみこんだ もの

◯ じゃり ◯ すな ◯ ねん土の 多い 土

2 すなと じゃりの 時間の ちがい __ 秒

すなと じゃりの 時間の ちがい ［　　］ 秒

3 ことばから えらんで 書こう。

ことば　大きい　小さい

土の つぶが ［　　］ ほど、水は はやく しみこむ。

4 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 ◯ すな場には、雨の 後でも 水たまりが できにくい。

できたら
はなまる

つぎまる プリント

天気と星 ・ つぎは 「気温の はかり方」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

月

天気と星

しょうがく4ねんせい ・ りか ・ r4-39

気温の はかり方

やさしい ★☆☆ ・ 気温の 正しい はかり方

高さと
日光に 注意



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 気温の はかり方として 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 ◯ 地面から 1.2〜1.5m の 高さで はかる。

2 ◯ 温度計に 日光が 直せつ 当たらない ように する。

3 ◯ 風通しの よい ところで はかる。

4 ◯ 地面に 温度計を おいて はかる。

5 ◯ 日なたで 温度計に 日光を 当てて はかる。

2 ことばから えらんで 書こう。

ことば　百葉箱　虫めがね　気温

1 空気の 温度を ［　　］ と いう。

2 気温を 正しく はかる ための 白い 箱を ［　　］ と いう。

できたら
はなまる

つぎまる プリント

天気と星 ・ つぎは 「晴れの日と 雨の日の 気温」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

月

天気と星

しょうがく4ねんせい ・ りか ・ r4-40

晴れの日と 雨の日の 気温

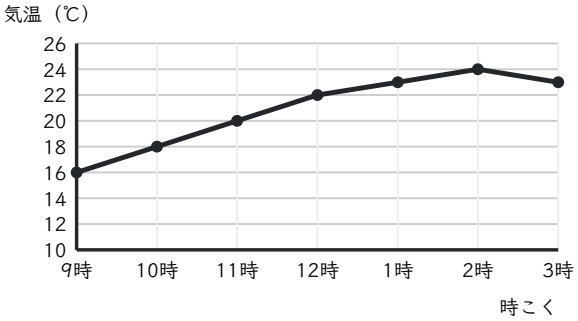
ふつう ★★☆ ・ 天気と 気温の かわり方

グラフの 形を くらべよう

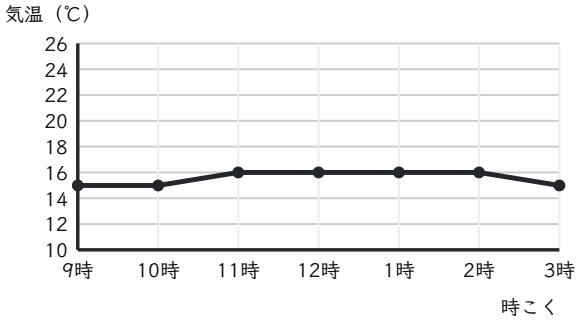


なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

ア



イ



1 ア・イの グラフを 見て こたえよう。

1 晴れの 日の グラフ ◯ア ◯イ

2 雨の 日の グラフ ◯ア ◯イ

2 アの グラフを 見て 書こう。

1 いちばん 高い 気温 ［　　］℃

2 9時と いちばん 高い 気温の ちがい ［　　］℃

3 ことばから えらんで 書こう。

ことば　大きい　小さい

1 晴れの 日は、1日の 気温の かわり方が ［　　］。

2 雨の 日は、1日の 気温の かわり方が ［　　］。

できたら はなまる

つぎまる プリント

天気と星 ・ つぎは 「気温の グラフを 読もう」

こたえは ここ

つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

月

天気と星

しょうがく4ねんせい ・ りか ・ r4-41

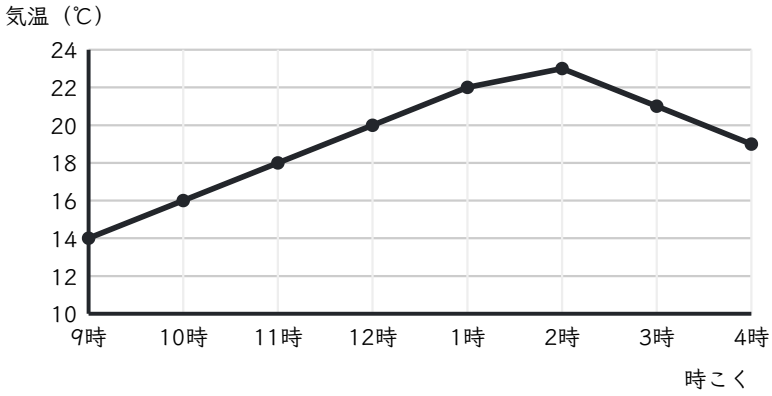
気温の グラフを 読もう

むずかしい ★★★ ・ 1日の 気温の 折れ線グラフ

線の かたむきを 見よう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿ がつ ＿＿ にち



1 グラフを 見て 書こう。

1 9時の 気温 [　　] ℃

2 いちばん 高い 気温 [　　] ℃

3 いちばん 高い 気温と 9時の 気温の ちがい [　　] ℃

4 12時から 1時までに 上がった 気温 [　　] ℃

2 気温が いちばん 高い 時こくは どれかな。

◯ 9時 ◯ 10時 ◯ 11時 ◯ 12時 ◯ 1時 ◯ 2時 ◯ 3時 ◯ 4時

3 2時より 後の 気温は どう なって いるかな。

◯ 下がって いる ◯ 上がって いる

できたら はなまる

つぎまる プリント

天気と星 ・ つぎは 「水の ゆくえ」

こたえは ここ

つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

月

天気と星

水の ゆくえ

ふつう ★★☆ ・ 水の じょう発

水は
どこへ 行った？



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿ がつ ＿＿ にち

1 ことばから えらんで 書こう。

ことば　じょう発　ふっとう　水じょう気

1 水が ふっとうしなくても、水面から 水じょう気に なって 出て いく ことを ［　　］ と いう。

2 じょう発した 水は、目に 見えない ［　　］ に なって 空気中に まじる。

2 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 ◯ せんたく物が かわくのは、水が じょう発するからだ。

2 ◯ 水たまりの 水は、日光で 温められると じょう発しやすい。

3 ◯ ふたを した 入れ物の 水は、ふたの うらに 水てきが つく。

4 ◯ 水は 100℃に ならないと、じょう発しない。

3 ふたを しない コップと、ふたを した コップの 水を 何日か おいたよ。水が へったのは どちらかな。

◯ ふたを しない コップ　◯ ふたを した コップ

書体: Klee One（SIL Open Font License）

月

天気と星

空気中の 水じょう気

ふつう ★★☆ ・ 空気中の 水じょう気

コップの 水てきは どこから？



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿ がつ ＿＿ にち

1 ことばから えらんで 書こう。

ことば　水じょう気　水てき　冷やされる

1 氷水を 入れた コップの 外がわに ［　　］ が つく。

2 これは、空気中の ［　　］ が 冷やされて 水に なった ものだ。

2 空気中の 水じょう気が 冷やされて 水に なった ものに ○、ちがう ものに × を 書こう。

1 ◯ 冬の 朝、まどガラスの 内がわが くもる。

2 ◯ 冷ぞう庫から 出した ペットボトルの まわりが ぬれる。

3 ◯ 水を まいた 道が かわく。

4 ◯ さむい 日に はく 息が 白く 見える。

3 空気中に 水じょう気は ふくまれて いるかな。

◯ ふくまれて いる　◯ ふくまれて いない

書体: Klee One（SIL Open Font License）

月の 形

天気と星

やさしい ★☆☆ ・ 月の 形

どんな 形に
見えるかな



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿ がつ ＿＿ にち

1 月の 形の 名前を 書こう。



ことば　三日月　半月　満月

ア ＿＿＿＿

イ ＿＿＿＿

ウ ＿＿＿＿

2 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 ○ 月の 形は、日に よって かわって 見える。

2 ○ 月の 形の 見え方は、毎日 同じだ。

3 ○ 満月は、丸く かがやいて 見える 月だ。

4 ○ 半月は、丸い 月の 半分が かがやいて 見える。

できたら
はなまる

書体: Klee One（SIL Open Font License）

月
天気と星

月の 動き

ふつう ★★☆ ・ 月の 動き

時こくで
いちが かわる



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿ がつ ＿＿ にち

1 ことばから えらんで 書こう。

ことば　東　南　西

月は □ の 方から 出て、□ の 空を 通り、□ の 方へ しずむ。

2 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 ○ 月は 太陽と 同じように、時こくと ともに いちが かわる。

2 ○ 満月も 半月も、東から 南を 通って 西へ 動く。

3 ○ 月は 西から 出て 東へ しずむ。

4 ○ 月の いちを 記録する ときは、建物などの 目じるしと いっしょに かく。

3 夕方 東の 空に 見えた 満月は、真夜中ごろ どの 方の 空に 見えるかな。

○ 東　○ 南　○ 西

書体: Klee One（SIL Open Font License）

月

天気と星

しょうがく4ねんせい ・ りか ・ r4-46

星の 明るさと 色

やさしい ★☆☆ ・ 星の 明るさと 色



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 ことばから えらんで 書こう。

ことば　明るさ　色　赤っぽい　白っぽい

1 星には ［　　］ や ［　　］ の ちがいが ある。

2 さそり座（ざ）の アンタレスは ［　　］ 色に 見える。

2 夏の 大三角を つくる 星に ○を つけよう。（ぜんぶ）

◯ ベガ　◯ アルタイル　◯ デネブ　◯ シリウス

3 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 ◯ 星は どれも 同じ 明るさに 見える。

2 ◯ 星の ならびを 動物や 道具に 見立てた ものを 星座（せいざ）と いう。

できたら はなまる

つぎまる プリント

天気と星 ・ つぎは 「星の ならびと 動き」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

月

天気と星

星の ならびと 動き

ふつう ★★☆ ・ 星の ならびと 動き



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿ がつ ＿＿ にち

1 ことばから えらんで 書こう。

ことば　かわらない　かわる

1 時間が たつと、星座(せいざ)の ならび方は ［　　］。

2 時間が たつと、星座(せいざ)の 見える いちは ［　　］。

2 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 ○ 南の 空の 星は、東の 方から 西の 方へ 動いて 見える。

2 ○ 星座(せいざ)は、時間が たつと 形が くずれて いく。

3 ○ 星座早見(せいざはやみ)を つかうと、星座(せいざ)の いちを しらべられる。

4 ○ 夏の 大三角は、時こくが かわっても 形は 三角の ままだ。



ヒント

同じ 場所で、目じるしを きめて 時間を あけて 見くらべよう。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

月と星 まとめ

むずかしい ★★★ ・ 月と 星の まとめ

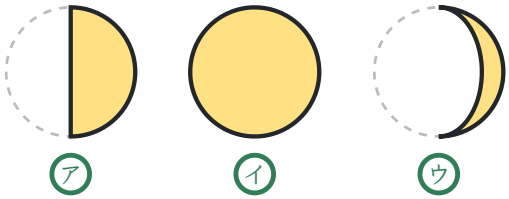
月
天気と星

思い出して みよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 月の 形の 名前を 書こう。



ことば　三日月　半月　満月

ア ［　　］

イ ［　　］

ウ ［　　］

2 正しい ものに ○、まちがって いる ものに × を 書こう。

1 ○ 月は 東から 出て、南の 空を 通り、西へ 動く。

2 ○ 星座（せいざ）の ならび方は、時間が たつと かわる。

3 ○ 星には 色の ちがいが ある。

4 ○ 夏の 大三角の 1つは ベガだ。

できたら はなまる

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）